

2023年11月15日（水）
カリフォルニア大学バークレー校
ハース・スクール・オブ・ビジネスにおける
西村経済産業大臣 基調講演

皆様こんにちは。経済産業大臣の西村康稔です。
本日は貴重な機会を有難うございます。大変光栄に思います。

UCバークレーは1868年創立と聞きました。1868年は日本にとって重要な年です。明治維新が起き、300年続いた鎖国を打ち破り開国を成し遂げ、近代的な明治政府へと転換を図った「変革の年」です。

UCバークレーは「変革」を生み出すビジネスの創業者や「変革」を導く社会のリーダーを生み出してきた大学だと理解しています。

Apple、Intel、eBay、GAP等の世界的企業はUCバークレーの卒業生が創設しました。彼らは「変革」を生み出した人たちです。日本の通信大手 Softbank もUCバークレーの卒業生である孫正義氏が創設しました。

現代で「変革」やイノベーションを生み出すのは、スタートアップ企業です。

次の Apple や Softbank がスタートアップの中から生まれてきます。「変革」を生み出すには、思いをともにする同志のネットワークが必要です。Haas School や UC Berkeley SkyDeck はそうした「変革」を生む人々のネットワークを作る役割を果たしてきたと認識しています。

SkyDeck の役割は JETRO との連携により新たな地平に向かいます。

SkyDeck は日本へ進出します。日本が今、「変革」を遂げようとしている点に着目し、JETRO との連携を決めたのは、慧眼です。

日本は今、社会構造の変革に取り組んでいます。地球温暖化、デジタル化といった課題を変革に向けた好機と捉え、GX、DXを推進し、更なる成長を遂げようとしています。

日本は広範な分野で厚みのある産業基盤があります。例えば、半導体の製造装置や材料、ロボットなどの産業分野や、量子技術に関する部素材に強みがあります。

これを土台に日本は新しい産業の創出を積極的にリードしていきます。例えば日本が伝統的に競争力を持つ「自動車産業」は技術の進化を活かし、社会課題解決や価値創造をもたらす「モビリティ産業」へと進化させていきます。

新しい産業の創出や発展には、技術革新、拠点形成、資源確保が必要となります。

日本政府は、次世代EVの鍵を握る全固体電池や、次世代太陽電池であるペロブスカイトの開発を支援し、量子技術のグローバルセンターを新たに設立するとともに、生成AIの開発に必要な計算資源確保にも取り組んでいます。

こうして私は日本経済の成長を所管する経済産業大臣として、日本の変革をリードします。

私は二人のUCバークレーの卒業生にインスパイアされています。

一人目は、ノーマン・ミネタ氏。ここ Haas School のOBです。日系2世のミネタ氏はアジア系米国人として初めて米国の閣僚になり、新たな可能性を切り開いた歴史的人物です。

二人目は、ジェニファー・グランホルム米国エネルギー長官。米国の閣僚である彼女は、水素や次世代原子力などエネルギー分野で世界の変革をリードし困難に立ち向かう仲間です。いつも刺激を受けています。ちなみに、彼女はカナダ生まれです。カナダ生まれの彼女が閣僚として、米国をリードしているのは、世界から優秀な人材を集める米国の一例だと思います。

この2人は、多様な人材を集めるバークレーの象徴だと思います。日本やカナダをはじめ、世界中からこうした多様な人材が、イノベーションの原動力となる人材を輩出しているのだと思います。

私は、日曜日、パロアルトに新たに設立した日系スタートアップのビジネス拠点、「Japan Innovation Campus」の開所式に出席しました。本拠点は、バークレーのように、沢山の多様な人材が集まる、日本と世界のスタートアップ・エコシステムの結節点にしたいと考えています。ぜひ立ち寄ってください。

また、昨日は、米国のレモンド商務長官及びブリンケン国務長官と日米経済版2+2の会議を行い、日米の経済安全保障強化を議論しました。この会議は昨日が昨年に続き2回目です。日米の経済安全保障での連携は着実に前進しております。

例えば新たなイノベーションを生み出す源泉となる新興・機微技術で日米は特に連携を深めています。私とレモンド商務長官が旗を振り、

半導体、量子、AI、バイオなどの分野で具体的な連携が始まっています。経済的威圧や非市場的慣行に対処するための「透明で強靱で持続可能なサプライチェーン」構築に向けた議論も日米・有志国で深めてまいります。

不確実な国際社会の中で、日米の緊密な連携は「世界に安定をもたらす公共財」として機能しています。私はアメリカの良き友人たちと、日米の連携を進めていきます。

この後、ジェトロと Skydeck のMOU署名式が行われます。これも日米連携の象徴です。

今日冒頭でUCバークレー創立年の1868年に日本で起きた明治維新の話をしました。明治維新による変革をリードしたのは若い志士たちです。UCバークレーで学ぶ学生の皆さんには、「変革」を生み出し、新しい経済社会を作っていく原動力になっていただければと思います。

時間が限られていますので、私の話はここまでとしますが、この後のセッションを通して、時間の許す限り日本の政策や考え方などご紹介できればと思います。

ご清聴有り難うございました。